

総務経済委員会 行政視察報告書

平成29年8月22日

狭山市議会議長
齋藤 誠 様

総務経済委員会
委員長 三浦 和也

当委員会は、下記のとおり、埼玉県飯能市を視察して参りましたので、その概要について報告します。

記

日 程 平成29年7月20日（木）

視察事項 仕事と育児が両立できる働きやすい職場づくりについて

参加者 三浦 和也 西塚 和音 太田 博希
加賀谷 勉 猪股 嘉直 中村 正義
磯野 和夫 田村 秀二

随 行 久保田 智

飯能市

[市政施行] 昭和29年1月1日

[人口] 80,187人(平成29年8月1日現在)

[面積] 193.05km²

[概況]

埼玉県の南西部、東京都に接し、都心から50km圏内に位置している。

地形は山地、丘陵地、台地に分けられ、市域の約76%を森林が占めており、入間川、高麗川の一級河川が西部山地から東部台地へと流下している。気候は、太平洋側の内陸型気候だが、山間部は季節による気温の変化が激しく、降水量は埼玉県内でも多い地域となっている。

江戸時代から「西川材」で知られた杉や檜の産地で、林業と織物のまちとして繁栄し、市街は入間川の谷口集落として発展してきた。

昭和29年に県下9番目の市制を施行。昭和40年代からは宅地化が進展し、高校や大学、工場などの立地も進んだことにより、首都圏の近郊住宅都市として変化をしてきた。

平成17年には旧名栗村と合併、県内3番目という広大な面積を持つ市となった。

都心からの交通アクセスが良好な環境にありながら、自然に恵まれ、古くから豊かな森林と人との共生によって、人々の暮らしや文化・歴史、産業が育まれてきたことを背景に、平成17年4月に「森林文化都市」を宣言。自然と都市機能が調和した、暮らしやすい都市を目指したまちづくりに取り組んでいる。

【視察項目】

仕事と育児が両立できる働きやすい職場づくりについて

【視察内容】

1. 取り組みについて

仕事と育児が両立できる働きやすい職場づくりについて、他市と比較して特別な制度があるわけでも、特徴ある取り組みをしているわけでもない。職員の意識改革が取り組む上での最も重要なポイントとなる。

2. 職場の現況

(1) 飯能市の行政機構 … 10部4室44課(館・事務局含む)

(2) 職員数の推移 … 702人(平成18年) ⇒ 616人(平成29年)
86人減(11年間で12%削減)

(3) 飯能市と狭山市の人口と職員数 … ※平成28年4月1日時点

	人口	職員数	職員1人当たりの市民数
飯能市	80,547人	618人	130.3人
狭山市	152,081人	849人	179.1人
埼玉県	7,273,668人	63,281人	114.9人
さいたま市	1,269,091人	9,094人	139.6人

(4) 年齢別職員数 … 合計 616人 ※平成29年4月1日時点

10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代
4人	123人	113人	220人	153人	3人

(5) 級別等職員数 … ※平成29年4月1日時点

- ・行政職 585人
(うち管理職 149人〔25.5%〕、その他 436人〔74.5%〕)
- ・医療職 9人
- ・技能労務職 22人

(6) 行政職における管理職等の男女別職員数 … 主査級以上の職員 298人

	部長級	次長級	課長級	主幹級	主査級
女性	1人	2人	8人	23人	49人
男性	13人	11人	40人	51人	100人

※医療職にある管理職等は除く(平成29年4月1日時点)

- ・飯能市では昇任試験制度を採用しているため、主査級試験と管理職試験がある。

(7) 平成29年度 等級別・男女別職員数 … 女性管理職の割合 22.82%

※主幹級以上が管理職、医療職にある管理職等は除く

- ・行政職、医療職、技能労務職を含む全職員中 女性の割合 40.10%

(8) 平成28年度 昇任試験(管理職試験)受験申込状況

	受験対象者	申込者	申込率
女性	18人	14人	77.8%
男性	52人	32人	61.5%
計	70人	46人	65.7%

※受験対象者数は、年度末をもって定年退職する職員、休職処分中の職員を除く

3. 育児休業の取得状況

(1) 育児休業取得状況

	平成27年度	平成28年度	平成29年度※
女性	19人	20人	10人
男性	0人	3人	5人
計	19人	23人	15人

※平成29年度は4月1日～7月1日の値

- ・男性職員の育児休業取得が増加傾向にある。
- ・平成29年度取得男性のうち2人は、子が3歳に達する日まで育児休業を取得する予定。
- ・妻の育児休業の後を引き継ぐ形での育児休業取得もある。

(2) 部分休業取得状況

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度※
女性	8 人	10 人	11 人
男性	0 人	0 人	1 人
計	8 人	10 人	12 人

※平成 29 年度は 4 月 1 日～7 月 1 日の値

- ・部分休業は 1 日当たり 2 時間を上限に取得できる。
- ・男性の取得ケースは、体調のすぐれない妻に代わり保育所への送迎・家事等。

(3) 育児短時間勤務取得状況

- ・平成 25 年度から 27 年度に計 3 人が取得(女性)、平成 28 年度は実績なし。
- ・育児短時間勤務は制度としてはあるものの、取得しづらい状況にある。

⇒ 30 歳代の職員にとって、育児休業が取得しやすい環境になってきている。

⇒ 育児休業から復帰した男性職員への聞き取りから、第 2 子以降も取得したい希望がある。… 上の子の世話、保育所への送迎、家事などを家族で支える体制

4. 「埼玉県 多様な働き方実践企業」の認定について

(1) 平成 28 年 10 月 1 日付けで、飯能市役所は「多様な働き方実践企業」として埼玉県から認定を受けた。

(2) 認定申請の理由

⇒ 職員一人一人が自身の働き方を客観的に見つめ直すきっかけとし、全職員にワーク・ライフ・バランスに向けた行動を促すとともに、良好な職場環境づくりを進めていくため

- ・仕事と家庭の両立支援に係る飯能市の取り組み(現状)を判定していただいた結果。
- ・現行の認定基準は、飯能市にとってのハードルは決して高くない。
- ・認定を受けたことにより、両立支援制度の運用実績等が評価されることから
… 働きやすい職場として、職場のイメージアップにつながる。

(3) 認定基準

- ・女性が多様な働き方を選べる。
- ・短時間勤務制度が職場に定着している。
- ・出産した女性が現に働き続けている。
- ・女性管理職が活躍している。
- ・男性従業員の子育て支援等を積極的に行っている。
- ・多様な働き方への取り組み姿勢を明確にしている。

(4) 認定区分

- ・認定基準全てに該当 … プラチナ
- ・認定基準のうち 4 つ以上に該当 … ゴールド
- ・認定基準のうち 2 つ以上に該当 … シルバー

◇各区分にプラス評価があり、

- ・男性従業員の育児休業取得促進のため「男性の働き方見直し宣言」を行える。
- ・男性職員が連続5日以上(勤務を要しない日を除く)の育児休業の取得などを行い、かつ原職に復帰していること。

… プラス評価には両方の条件を満たすことが必要

(5) 認定のメリット

- ・認定証などの交付
- ・求人面でのPR
- ・研修などの情報提供
- ・県建設工事の入札参加資格申請時の加点
- ・中小企業制度融資

5. 「働きやすい職場づくり」に向けての取り組みについて

〔意識改革〕

「対話」を重視 ⇒ 「組織づくりは人づくり」と捉え、一人の職員も漏らすことなく人材育成を行う。

- ・対象及びねらいを明確にして、「研修」を実施。
- ・組織目標の設定及び人事評価制度の実施に当たって、話し合いや面談を行う。
- ・組織内で連携し、情報の共有化を図り、職員の気付きを促す取り組みを行う。
- ・育児休業取得職員の代替職員(一般非常勤職員・臨時的任用職員)を配置。
- ・市長方針(トップの思い)を浸透させる。… 女性と子どもにやさしいまちづくり

〈大久保市長の言葉〉

- ・気遣い、気配り、配慮。
- ・ありがたいの気持ちは声に出して相手に伝えよう。
- ・人をうらやむ前にまずは自分をみつめること。
- ・他人の喜びを自分の喜びに、他人の悲しみを自分の悲しみに。
- ・謙虚になりなさい。
- ・仕事はみんなでやらなければならない、汗をかく仕事を忘れてはならない。

【主な質疑応答】

Q. 市長の言葉の中に「気遣い、気配り、配慮」という言葉があり、また、他人への思いやりが大事だというお話を伺ったが、実行する上で得意不得意があると思うがどのように醸成されているか。

A. 対話が大事であり、管理職だけでなく職員課も待ちの姿勢ではなく積極的に話を聞きに行くことや、元気に挨拶することにより、その場で相手の状態がわかる。気が付くことから始まる。

Q. 半年の育児休業に入られる際に、代わりとなる職員補充などの対応は。

A. 育児休業に入った4月からは代替の非常勤職員が充てられていた。

Q. 市役所以外で、飯能市内で認定を受けている事業所は28社とあるが、申請に際し

て市からPRされたのか。

A. 市から民間の事業所に勧めているものではない。



担当者から説明を受ける



飯能市議会本会議場にて

以上が視察の概要であり、報告いたします。